

令和7年度教育学部キャリア研究セミナー

7/24 (木)

卒業後6年目の先輩に聞く、就活、転職、キャリアプラン
～教育学部の先輩が語る社会での生き方とは？～

福田 小夏 (ふくだ こなつ) 氏

三井住友DSアセットマネジメント (株) 人事担当。
1997年北九州市生まれ。福岡県立東筑高等学校、九州大学教育学部卒。

就職活動では地元企業からグローバル企業まで幅広い会社を視野に悩み抜いたのち、ビジネス・福祉両面から障害のある方の社会進出を支援するソーシャルベンチャー企業へ入社。主に営業に従事する傍ら、大企業向け新サービスの立案・実働、上司が遠隔地にいる環境など同社ならではの経験を積む。

2024年、社会人5年目で投資信託・投資顧問ビジネスを展開する三井住友DSアセットマネジメントへ入社。主な担当業務は新卒・中途採用、社内公募制度の運営等。金融市場のダイナミズムやグローバル規模のビジネスを身近に感じられる環境で、各領域のプロと関わりながら日々業務を行っている。



「卒業後6年目の先輩に聞く、就職、転職、キャリアプラン～教育学部の先輩が語る社会での生き方とは？～」セミナー概要：今年度のキャリアセミナーでは、2020年3月に卒業した、卒業6年目の教育学部の先輩である福田小夏さんを講師に迎えます。学生の皆さんと歳の近い先輩をお招きすることで、学生時代に行った就職活動で、どのように教育学や心理学で学んだことを社会で活かそうと思っていたのか、また、その後、社会人としてどのように働いてこられたのか、についてお話しいたします。福田さんは転職を経験されていますが、なぜ転職という道を選ばれたのか、これからのキャリアプランやライフプランはどう考えておられるかなど、忌憚なく語っていただきます。教育学部学生にとって、卒業後わずかの歳の近い先輩から話を聞く貴重な機会ですので、奮って、参加ください。

【対象者】

・九州大学教育学部の学部生を中心に、企業人事に関心のある本学の学生

【申込方法】 下記の申込フォーム・もしくは右QRコードにて必要事項を記入

・申込フォーム：<https://forms.gle/xUih69CeadzWhyU9>

【申込締切】 7/11(木)迄

【参加費】 無料 【定員】 60名 (教育学部定員45名、他学部15名)

【セミナー日時・場所】

2024年7月24日(木)14:50～16:20 希望者には、終了後、会社説明会を実施します、※本セミナーは対面にて行います。

場所：イースト1号館

(お申し込みいただいた方に後日、参加方法についてご連絡いたします)

【主催】九州大学教育学部

【企画お問い合わせ先】

担当：木村拓也 教授 Mail：kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp



『「自分のキャリアを、自分の手でつくる」 —“与えられる道”から“選び取る道”へ—』

いま、若者が向き合うキャリアは“正解のある選択”ではなく、“問い続けながら選び取る営み”へと変わりつつあります。本セミナーでは、キャリアを自ら決めるとは何かを考えるために、異なる分野で道を切り拓いてきた4人のゲストを招きます。放送局のディレクター、スタートアップの経営者、行政からベンチャーに飛び込んだ実践者、テック企業の広報…。それぞれの葛藤や決断のプロセスに触れながら、「他人軸」ではなく「自分軸」で未来を選ぶ力を育むことを目的とします。講義は講話と対話を組み合わせた参加型で行い、学生一人ひとりが自分の言葉で“キャリア”を語れるようになることを目指します。



6月12日(木)13:00～14:30登壇予定

城野隼斗さん

KBC九州朝日放送（昨年度北九州市に出向）

2016年KBC入社。情報番組『アサデス。KBC』のディレクターを経て、東京支社では営業職として企業課題の解決に向けた企画提案に従事。2024年度からは北九州市役所に出向し、観光プロモーションの企画・実行や広報人材育成を担当。2025年度には、社会課題である“空き家問題”に挑む新規事業を社内起業として立ち上げ、地域課題解決に向けた取り組みを進めている。

組織にしながら、組織を越えていく。“会社の中で起業する”という選択がひらく、新しいキャリアのかたちとは？



6月19日(木)13:00～14:30登壇予定

松尾明美さん

株式会社BotExpress 執行役員

佐賀県出身。新卒でDellに入社後、NAVERの海外拠点やLINE Fukuokaにて、企業広報・採用・人事制度設計・ブランディングなど、多岐にわたる領域でキャリアを重ねる。

2022年よりBot Expressに参画し、「スマホ市役所」の実現を掲げ、テクノロジーで行政サービスの可能性を拡張中。三つ子の母として、産休・育休・時短勤務など多様な働き方を経験。国際家庭・海外勤務といった越境的な人生も経て、組織と社会の両方に「風」を送り込む実践者であり続けている。

子育ても、国際結婚も、フルタイムも、スタートアップも。いろんな「やってみたい」を重ねてきた彼女が、いま大切にしているキャリアとは？



6月26日(木)13:00~14:30登壇予定
藤山雷太さん
スチームシップ株式会社

九州大学在学中に全国の学生との交流を通じてチームづくりやリーダーシップを体得。新卒でDeNAに入社し都市型ビジネスの最前線を経験したのち、東日本大震災を契機に地元・佐賀へUターン。まちづくり公社での地域活性化支援を経て、2017年に株式会社スチームシップを創業。

「地域の宝探しカンパニー」としてふるさと納税支援や若者のUIターン雇用促進に取り組む。都市を離れ、地域で“新しいキャリアモデル”を創り出す挑戦を続けている。

都市の大企業から、地元での起業へ——。

なぜ彼は“安定した道”ではなく、“ローカルからの挑戦”を選んだのか？



7月24日(木) 13:00~14:30 登壇予定
矢野桃子さん（※現在調整中）
福岡市役所

福岡市役所で市民サービスの改善や業務改革に取り組み、公務員として社会課題に向き合ってきた。2023年、国家戦略特区の「退職手当特例制度」を活用し、創業5年以内のスタートアップ

・62Complex株式会社へ転職。

行政の中からでは届かないアプローチを外から試みることで、福岡のまちづくりにさらなる変化をもたらす挑戦を選んだ。制度を活用して新しい働き方に踏み出したその決断には、「自分の成長と地域の未来を両立させたい」という一貫した思いがある

国家戦略特区制度を活用し、公務員からスタートアップへ。社会の仕組みに関わる立場から、自ら仕組みを変える側へ。彼女が選んだキャリアの“次のステージ”とは？

協力



KBC九州朝日放送が
2020年に立ち上げた社内スタートアップ。地域ブランディングや自治体向けのコンサルティング事業を行っている。